

# 臨瀨亭使用のしおり

H29.10.5

1 臨瀨亭を使用する場合は、使用日の2ヶ月前から受付をします。  
受付日が休館日の時は、休館日の前日となります。

2 臨瀨亭の定員は、25名です。

3 次の場合は使用できません。

- (1) 政治・宗教・営利活動に使用するとき
- (2) 飲酒を伴う集会及び行事
- (3) その他使用を不相当と認めるとき

4 使用時間及び使用料金

- (1) 午前の部 午前9:00～午後0:30 2,100円
- (2) 午後の部 午後1:00～午後5:00 2,300円
- (3) 全日 午前9:00～午後5:00 4,400円

5 既納の使用料は、原則として返還できませんのでご了承ください。

6 使用上の注意

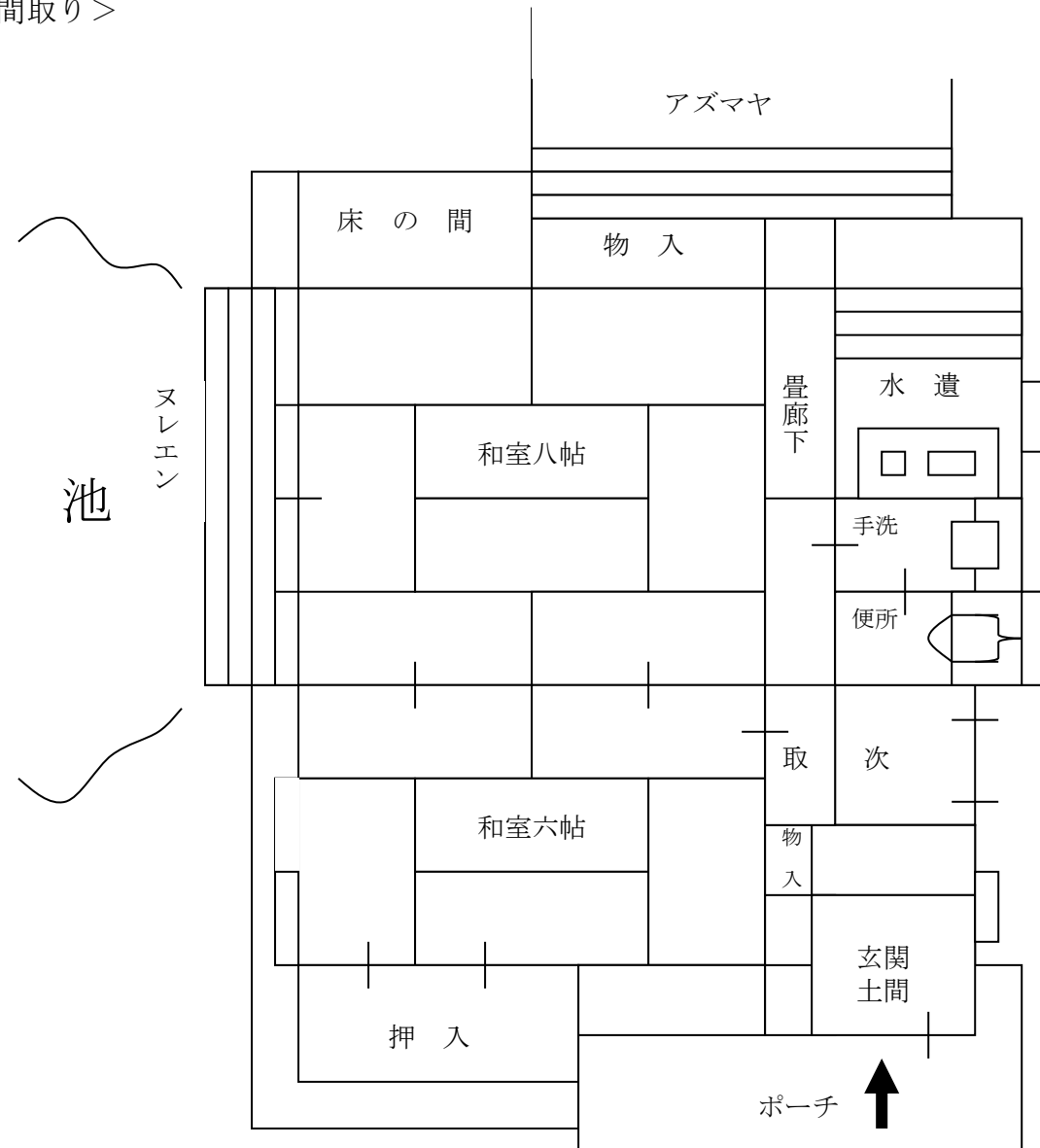
- (1) 使用が承認された場合、その権利を他人に譲渡又は転貸することはできません。
- (2) 偽りその他不正な手段によって使用承認を受けた場合は、使用承認を取り消す場合があります。
- (3) 使用終了後は、部屋及び湯茶道具等の清掃をお願いします。  
実施後、職員が点検します。
- (4) 使用時間は、厳守してください。
- (5) 持ち込み電気機器（照明等）を使用の際は、必ず合計1500ワットまでに収めてください。
- (6) 設備・備品等の汚損や破損が見つかった場合は、弁償を求めることがあります。
- (7) ゴミは必ずお持ち帰りください。
- (8) その他使用にあたっては、職員の指示に従ってください。

ご不明の点は下記までお問い合わせください。

足立区立郷土博物館 Tel (3620) 9393

<備品>座卓・座布団・灰皿・湯のみ茶碗・ポット・お盆・茶道具一式  
※茶道具を使用する場合は、お申込の際に申し出てください。

<間取り>

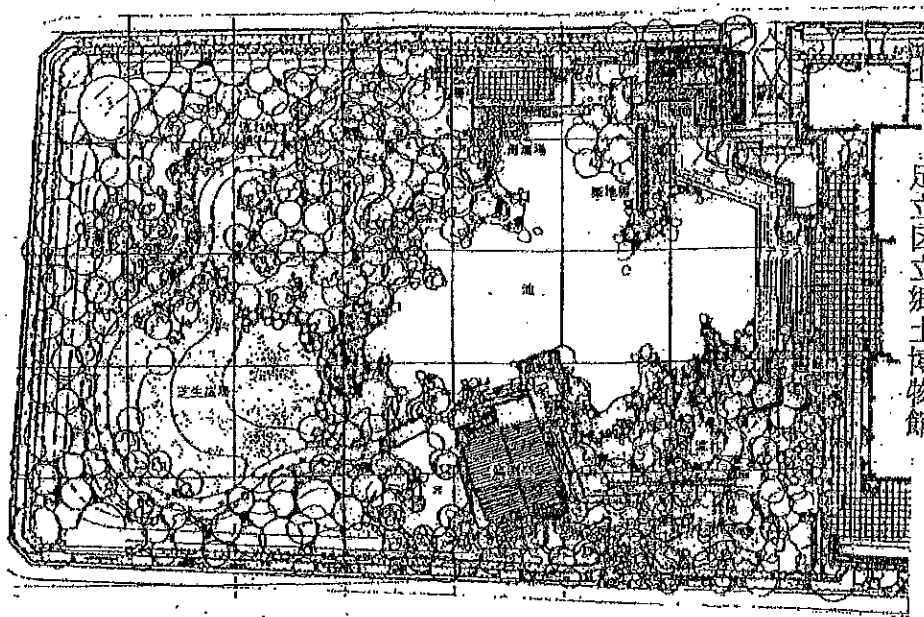


# 野趣あふれる庭【東洲江庭園】

足立区立郷土博物館の建物と調和して、足立区の歴史を物語るにふさわしい雰囲気を持つ東洲江庭園は、区民のレクリエーションの場としても親しまれている。

昔の蔵を思わせる博物館の脇を通って同庭園を一周しよう。散策の順路は左回りで、池を正面にして左側に建つ臨淵亭やその庭門も公共施設とは思えない仕上がりである。

足立区立郷土博物館



池を左に見ながら歩みを進めると塀を背景にした手水鉢がまず目に映る。そこを右に曲がって公衆トイレと管理に従事する人たちの詰所を兼ねた建物に出る。庭園内の建物だけに修景に気を配った木造で周囲に解け込むようなスタイルをしている。

そこからさらに進んでゆくと藤棚の下に出る。ちよつと一息したい場所、そこに腰かけると臨淵亭と池が左右の植栽に挟まった形で見えてくる。藤棚を後にして山道風情の園路を進む。視野は狭いが耳に心地よい水音が聞こえてくる。

この先に瀧とせせらぎ風の流れがあるからで、その気配を音で感じさそうとする手法である。奥床しいつくりの瀧を横に見て進むと視界が開け、出発点である博物館が池の水面に影を落としているようすを見ることが出来る。

園路伝いに進むと臨淵亭が見え隠れしながら近づいてくる。その臨淵亭の待合が池に面しているため、水面を落ち着いた気分が楽しめる。待合をあとに、延段や飛石を伝って出発点の博物館前に戻って一周だ。

豪華な石組や常緑樹の少ない、いわば野趣味が濃厚なのは、故人となった造園家の小形研三氏が設計者であるからだ。植栽は雑木主体で、池畔の構成や景の見せ方、見せ場が、大名庭園やそれに準ずる明治時代と違った味わいがある。小形氏晩年の設計であり、昭和の庭として後世に伝えたい。